

取組事例

（所定外労働削減・年休取得促進・多様な正社員・朝方の働き方・テレワーク）



企業名：富田製薬株式会社	所在地：徳島県鳴門市
社員数：430名	業種：製造業

取組の目的：

わが社の信条にある「全従業員のより豊かな生活を築く」の充実のため、ワークライフバランスを向上させることを目的とする。

取組の概要：

<現在の取組>

○トップメッセージ

ワークライフバランス向上のため、時間外労働、休日出勤削減の施策を実行する。

○所定外労働時間の削減

・毎月第一水曜日にノー残業デーを設けている。この取り組みに対して、幾つかの部門では他の日にもノー残業デーを拡大するようになった。

・毎年部署ごとにコストダウン目標を策定し、優秀であった部署にはコストダウン報奨金を支給している。

コストダウンの目標として多くの部署が人件費削減を掲げて取り組み、結果として時間外労働の減少につながった。

・顧客との調整に基づく製品の整理・統合及び受注管理システムの整備による効率的な生産体制が構築されたことにより、時間外労働の減少につながった。

○9連続休暇の取得

年次有給休暇の計画的付与制度を活用し、夏期及び年末年始休暇は原則9日間の連続休暇としている。GW休暇も出来る限り9日間の連続休暇となるようにしている。また、9連休に休日出勤（法定外含む）した場合は10割増しの手当を支給。

○年次有給休暇の取得促進

常に年休の残日数がわかるように休憩室に「年次有給休暇授受簿」を置いている。また、社長の意向でなるべく年休を取得するように指示している。

○家族同伴の社員旅行

3年に1度、家族同伴で参加できる社員旅行（海外、国内）を実施（社員旅費を会社が負担）。

○社内サークル活動の強化

就業後及び休日の過ごし方を豊かにするため、社内サークル活動支援を強化している。

<今後の取組>

- 労使懇談会の中で必ず所定外労働、休日出勤削減をテーマに意見交換をする。
- ノー残業デーの拡大。
- より一層の機械化を推進し省力化を図る。
- 秋のシルバーウィークの連続休暇の実施検討。

現状とこれまでの取組の効果：

- 社員旅行を心待ちにしている社員が多い。
- ノー残業デーは定着、第一水曜日の所定外労働は非常に少ない。
- コストダウン目標を持つことで、所定時間外労働削減の意識が高くなった。
(年休取得率 54~59%、所定外労働時間数 11~13 時間/月で推移しているが、生産高、売上高ともに増加していることから、効率的な働き方になったと考えている。)
- サークル活動が活発化し、社員同士での活動が増えた。

(H27.02)